



大阪府立弥生文化博物館 平成 22 年度冬季企画展

# 続・発掘へんろ

## ー四国の弥生時代ー

『続・発掘へんろ』展は、四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で発掘出土品の巡回展を開催し、四国の古代史や埋蔵文化財の重要性を知っていただくとするもので、平成 21 年度から 5 ヶ年計画で四国の歴史を時代ごとに紹介します。2 回目となる今年度は弥生時代の石器や土器から 4 県の地域性や交流を探ります。

今回、大阪会場となった当大阪府立弥生文化博物館では、普段はなかなかみられない四国の資料をご紹介しますと同時に、大阪にもたらされた資料も展示し、四国と近畿の「海の道」についても考えられる展示にしました。

約 2,000 年前の人びとの活発な活動に思いをはせていただければと思います。(展示品約 200 点)

会 期 平成 23 年 1 月 22 日 (土) ~ 3 月 21 日 (月祝)

主 催 大阪府立弥生文化博物館・四国地区埋蔵文化財センター巡回展実行委員会

財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター  
財団法人松山市文化・スポーツ振興財団  
香川県埋蔵文化財センター  
公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター  
財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター

後 援 全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会  
和泉市、和泉市教育委員会、泉大津市、泉大津市教育委員会

会 場 大阪府立弥生文化博物館 特別展示室 (約 232 m<sup>2</sup>)

和泉市池上町 4-8-27 TEL. 0725-46-2162

<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

開館時間 午前 9 時 30 分~午後 5 時 (入館は午後 4 時 30 分まで)

休 館 日 毎週月曜日 (ただし 3 月 21 日は開館)

入 館 料 一般 400 円/65 歳以上・高大生 300 円 (20 名様以上の団体は 2 割引)

※中学生以下・障がい者手帳をお持ちのかたとその介助者 1 名は無料

アクセス J R 阪和線「信太山 (しのだやま)」駅下車 西へ約 600m

南海本線「松ノ浜」駅下車 東へ約 1,500m

国道 26 号線「池上町」交差点南西角 P : 普通車 72 台・大型バス 7 台 (無料)

---

### 関連事業

---

#### (1) 講演会

2 月 13 日 (日) 『四国発掘まんだらー邪馬台国を支えた四国ー』奈良大学名誉教授 水野正好 氏

場 所 : 大阪府立弥生文化博物館 1 階ホール

時 間 : 午後 2 時~4 時

聴講料 : 無料 (要入館料)

定 員 : 170 名 (当日先着順 午後 0 時 30 分から整理券配布・午後 1 時 30 分から受付)

(2) 調査成果報告会

第1回 2月5日(土)

『西部瀬戸内の弥生社会－鑄造鉄器と対外交流の諸相－』

愛媛県埋蔵文化財調査センター 柴田昌児 氏

『弥生時代の大集落－旧練兵場遺跡の発掘調査－』

香川県埋蔵文化財センター 文化財専門員 信里芳紀 氏

第2回 2月12日(土)

『太平洋に面した大形弥生集落－田村遺跡群の調査成果から－』

財団法人高知県文化財団埋蔵文化財センター 主任調査員 久家隆芳 氏

『土器に見る四国と大阪の交流』

財団法人大阪府文化財センター 市村慎太郎 氏

第3回 3月5日(土)

『四国の地域色－土器・石器・祭祀－』

財団法人松山市文化・スポーツ振興財団 主任学芸員 梅木謙一 氏

『徳島市眉山周辺の弥生遺跡群－矢野遺跡を中心に最新の調査成果から－』

公益財団法人徳島県埋蔵文化財センター 整理係長 近藤玲 氏

場 所：大阪府立弥生文化博物館 1階ホール

時 間：午後2時～4時

聴講料：無料（要入館料）

定 員：170名（当日先着順 午後0時30分から整理券配布・午後1時30分から受付）

(3) 学芸員による展示解説

1月22日(土) / 2月5日(土) / 2月12日(土) / 3月5日(土) / 3月21日(月祝)

時 間：いずれも午前11時～

(4) ワークショップ

3月13日(日)「ふんどうくんを作ろう」

今回の展示でも存在感たっぷりの分銅形土製品ふんどうがたどまひんをモデルに、自分だけの「ふんどうくん」をつくりましょう。当日は、松山市考古館のキャラクター「ふんどうくん」もやってきます。

時 間：午後2時～午後3時30分

参加費：無料（要入館料）

定 員：30名（当日先着順）

対 象：どなたでも



---

展示構成

---

プロローグ 四国の弥生時代

第一章 四国の遺跡（速報展）

第三章 広域での交流

第二章 四国と大阪の弥生時代

第1節 土器の移動

第1節 石器と石材

第2節 朱－まつり

第2節 各地の弥生土器とその違い

第3節 鉄と青銅

第3節 人のかたち、顔のかたち

第4節 青銅のまつり



### 四国の弥生土器・壺（中期）

左から

中尾山遺跡 / 愛媛県松山市 田村遺跡群 / 高知県南国市  
旧練兵場遺跡 / 香川県善通寺市 矢野遺跡 / 徳島県徳島市



### 四国の弥生土器・高杯（中期）

左から

中尾山遺跡 / 愛媛県松山市 田村遺跡群 / 高知県南国市  
旧練兵場遺跡 / 香川県善通寺市 矢野遺跡 / 徳島県徳島市



### 飾られた弥生土器・壺（前期～中期）

田村遺跡群 / 高知県南国市

西南四国地域（高知～愛媛県西部・南予）には、  
文様で装飾された壺がみられます。

### 四国から運ばれてきた土器（後期）

瓜生堂遺跡 / 大阪府東大阪市

西南四国（高知県～愛媛県西部）の土器・甕が  
大阪府下の遺跡から出土しています。



### 四国の石包丁（前期～中期）

上段左から 岩崎遺跡 / 愛媛県松山市 三条黒島遺跡 / 香川県丸亀市  
下段左から 田村遺跡群 / 高知県南国市 矢野遺跡 / 徳島県徳島

香川県ではサヌカイト製品が主流で、中央構造線に近い愛媛県・徳島県  
では結晶片岩製品が多く利用されます。



### 分銅形土製品

上から 祝谷六丁場遺跡 / 愛媛県松山市  
祝谷六丁場遺跡 / 愛媛県松山市  
綾川河床遺跡 / 香川県坂出市  
西長峰遺跡 / 徳島県阿波市

祭祀用の道具と考えられている手のひら大の土版です。  
全体形状や表情には地域色が認められます。

### 韓国からの鉄製品（中期）

矢野遺跡 / 徳島県徳島市

